

主 文

本件上告を棄却する。

当審における訴訟費用は被告人の負担とする。

理 由

被告人の上告趣意は、事案誤認の主張であり、弁護士横瀬義信の上告趣意は、憲法違反を主張するけれども、原審において主張せず従つて原審の判断を経ないのみならず、第一審においてもA某なる者の証人申請すらこれを行つた跡がないから、違憲の主張はその前提を欠き採用できない。それ故いずれも適法な上告理由に当たらない。また記録を調べても刑訴四―一条を適用すべきものとは認められない。

よつて同四―四条、三八六条一項三号、一八―一条により裁判官全員一致の意見で主文のとおり決定する。

昭和二八年三月一日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	霜	山	精	一
裁判官	栗	山		茂
裁判官	藤	田	八	郎
裁判官	谷	村	唯	一 郎